

SAMBOU-KAN Rev2.1 基板

説明資料

2017/9/19

Wakayama. rb
山本三七男

SAMBOU-KAN Rev2.1基板

特 徴

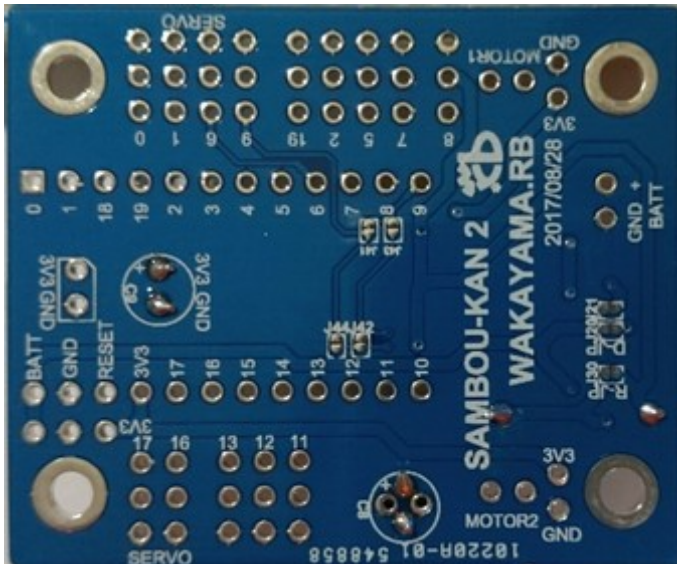
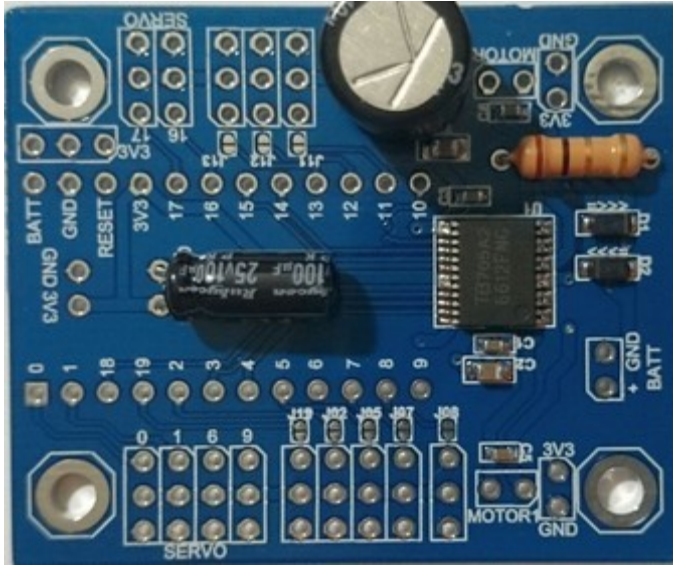
GR-CITRUSに接続して、DCモーターやサーボモーターを制御することができます。

GR-CITRUSからWA-MIKANとの同時使用も可能です。

- ・DCモーターは同時に2個の制御が可能。
- ・サーボモーターは同時に6個まで制御可能。
(WA-MIKANと同時使用時)
- ・サーボモーターは14個まで同時使用可能。
(WA-MIKAN無し時)

モータードライバ: 東芝TB6612FNG

GR-CITRUSとそのままつながります。



ピンアサイン

GR-CITRUSの出力ピン

サーボ電源(外部5V)

サーボGND

GR-CITRUS搭載部

バッテリー出力

GND

3.3V

サーボ電源(外部5V)

サーボGND

GR-CITRUSの出力ピン

モーター1の端子

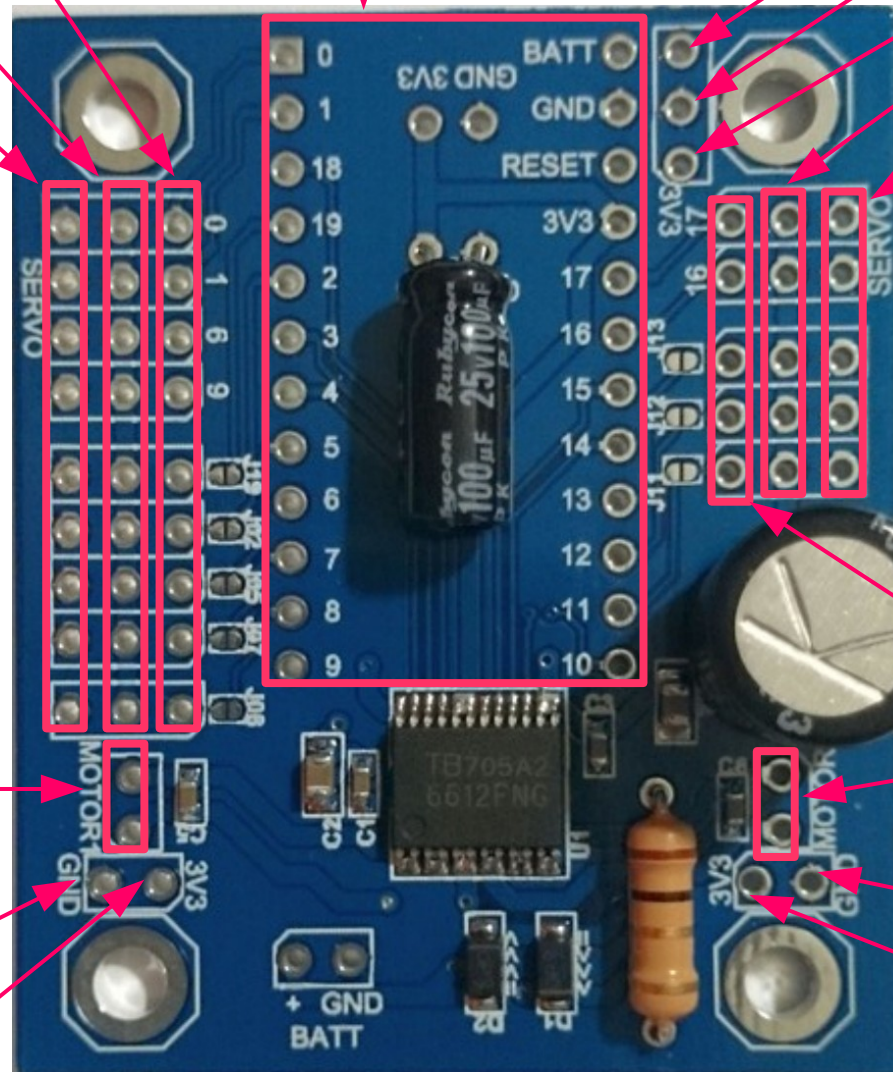
GND

3.3V

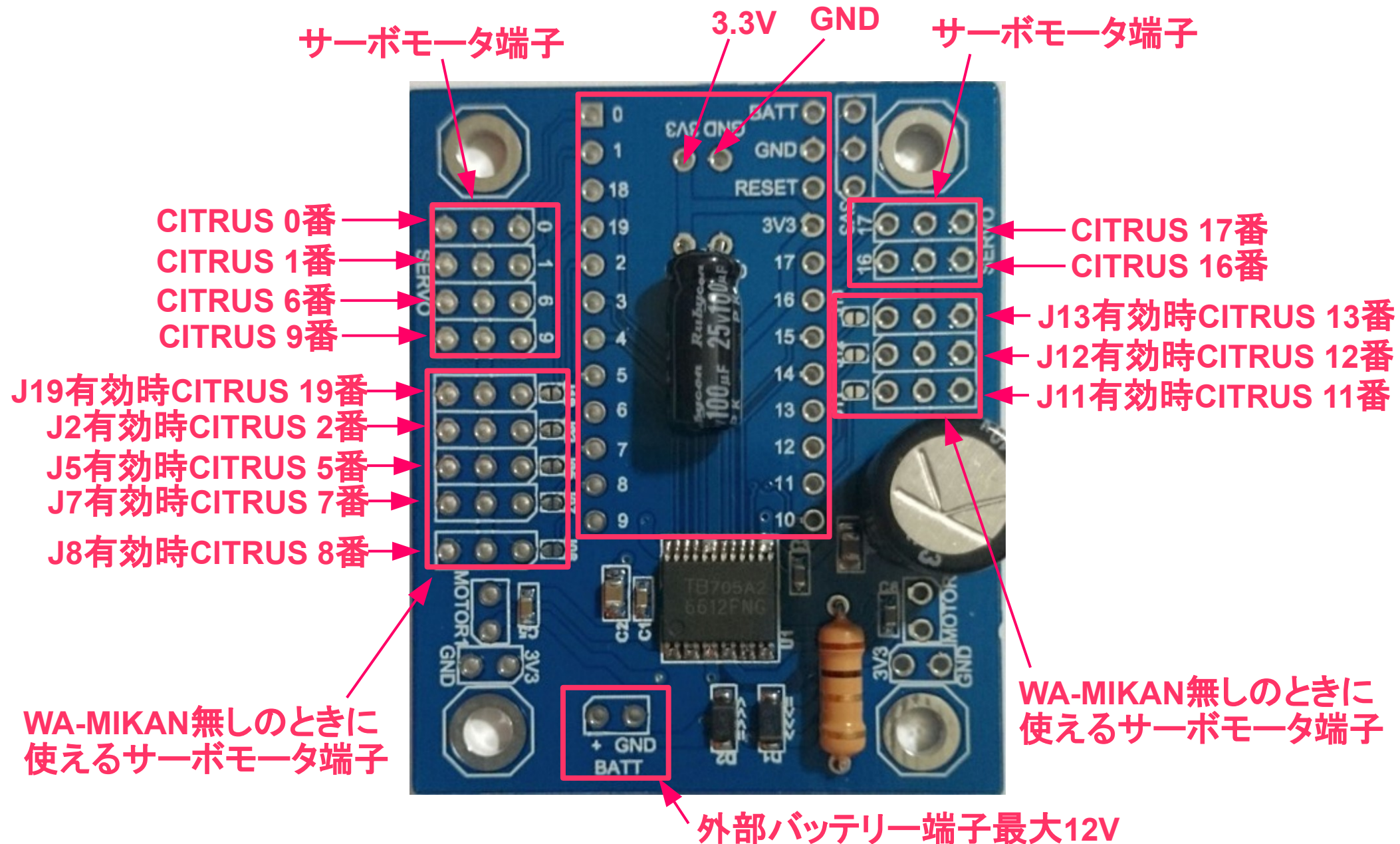
モーター2の端子

GND

3.3V



ピンアサイン



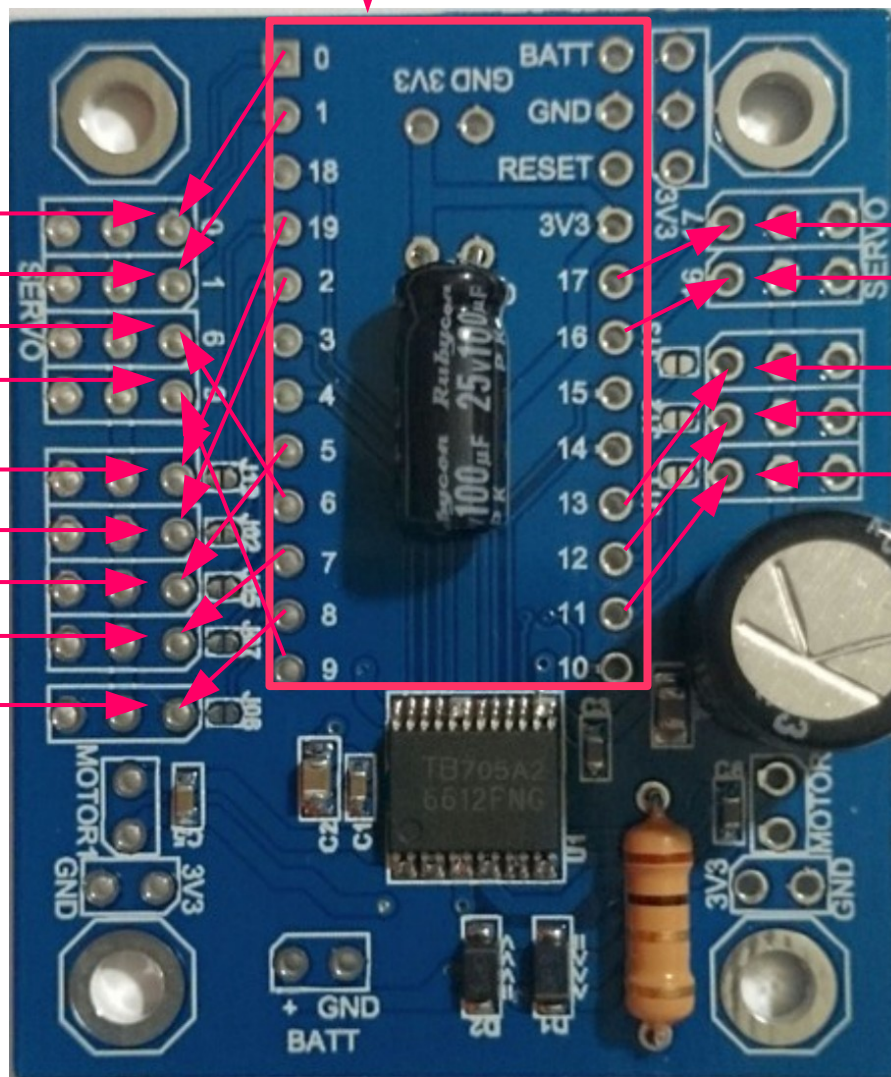
ピンアサイン

GR-CITRUS搭載部

GR-CITRUSの 0番ピン
GR-CITRUSの 1番ピン
GR-CITRUSの 6番ピン
GR-CITRUSの 9番ピン

GR-CITRUSの19番ピン
GR-CITRUSの 2番ピン
GR-CITRUSの 5番ピン
GR-CITRUSの 7番ピン
GR-CITRUSの 8番ピン

ただし、19,2,5,7,8番を
GR-CITRUSのピンとして
使用するには、
J19,J2,J5,J7,J8をショート
させる必要があります



GR-CITRUSの 17番ピン
GR-CITRUSの 16番ピン

GR-CITRUSの 13番ピン
GR-CITRUSの 12番ピン
GR-CITRUSの 11番ピン

ただし、13,12,11番を
GR-CITRUSのピンとして
使用するには、
J13,J12,J11をショート
させる必要があります

ジャンパの説明

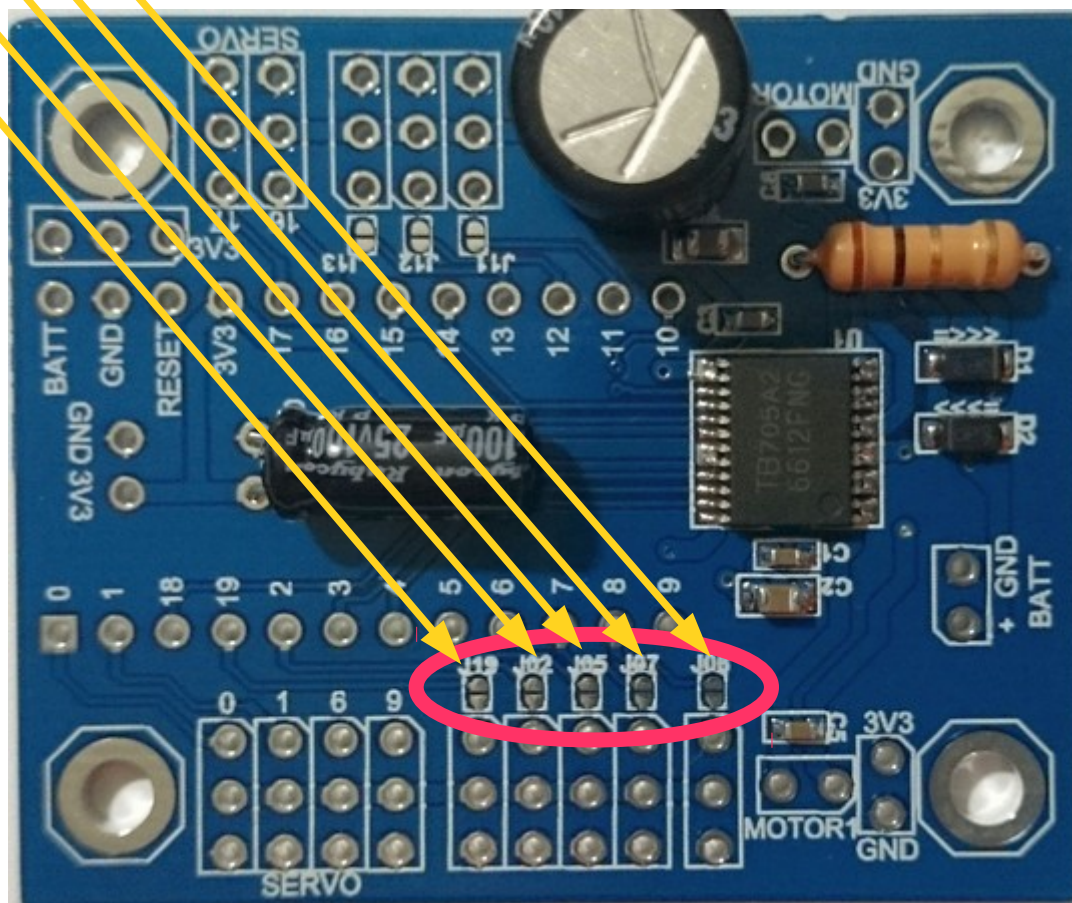
J19 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS19番がサーボモータ使用可能

J2 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS 2番がサーボモータ使用可能

J5 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS 5番がサーボモータ使用可能

J7 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS 7番がサーボモータ使用可能

J8 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS 8番がサーボモータ使用可能

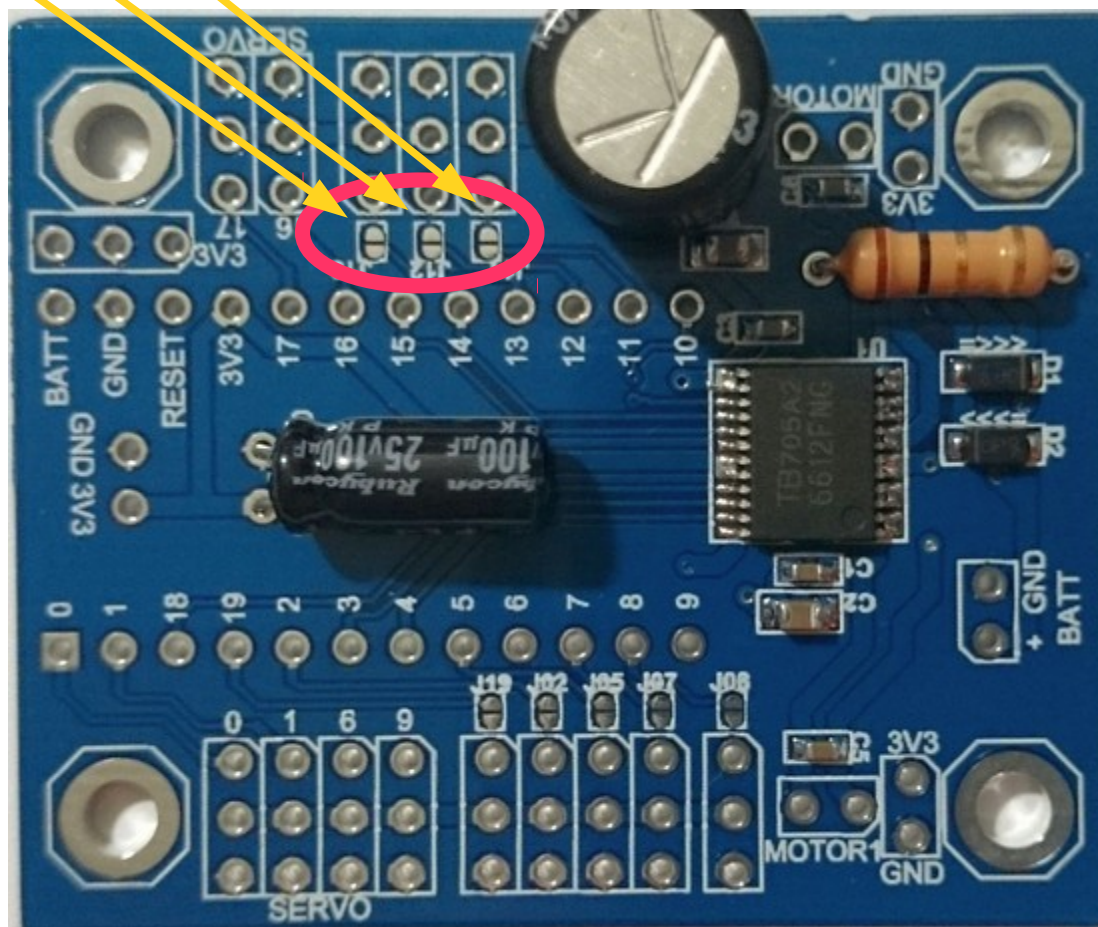


ジャンパの説明

J13 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS13番がサーボモータ使用可能

J12 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS 12番がサーボモータ使用可能

J11 WA-MIKAN未使用時にGR-CITRUS 11番がサーボモータ使用可能

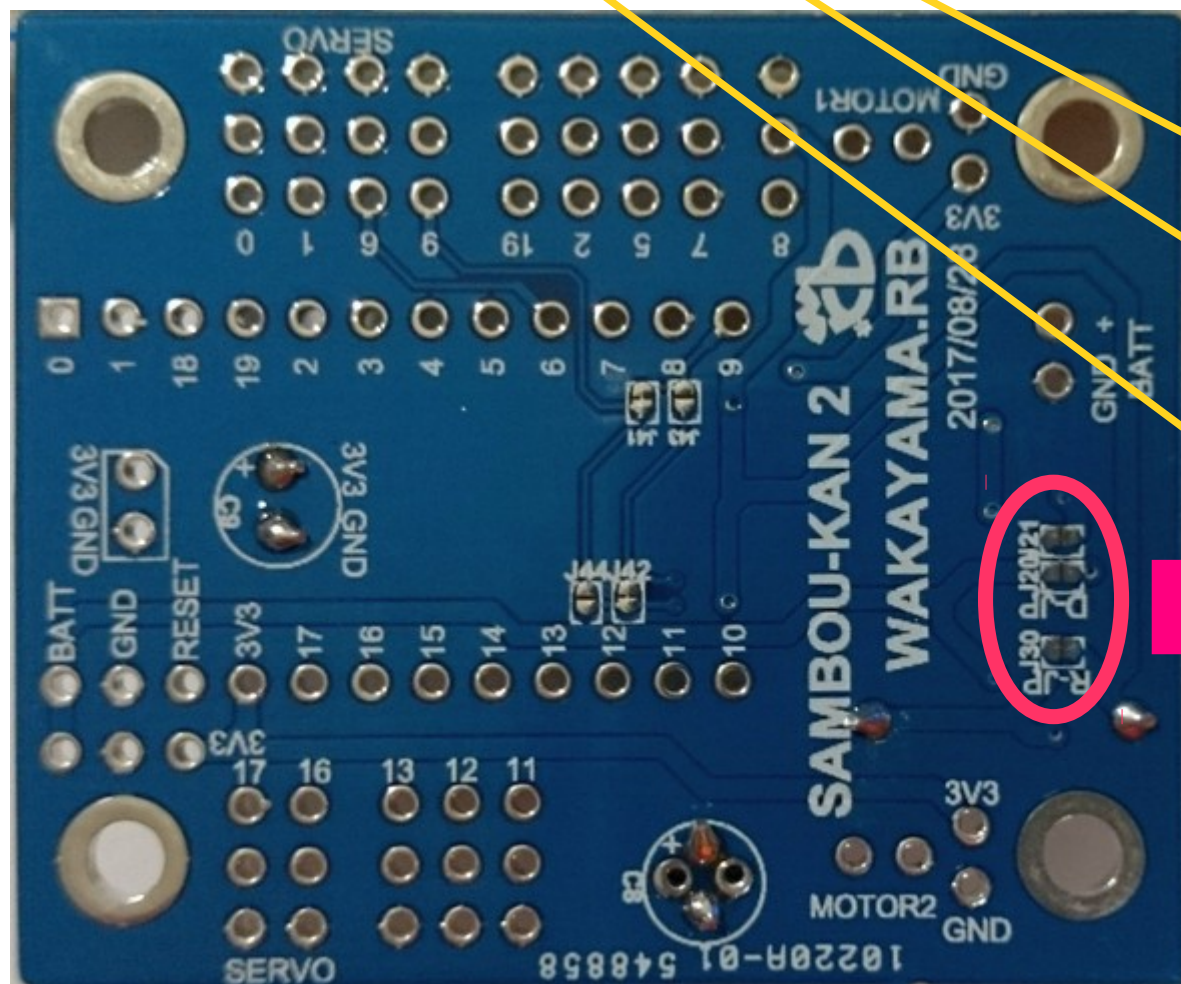


ジャンパの説明

J30制限抵抗1Ωを無効可したいとき ONにする

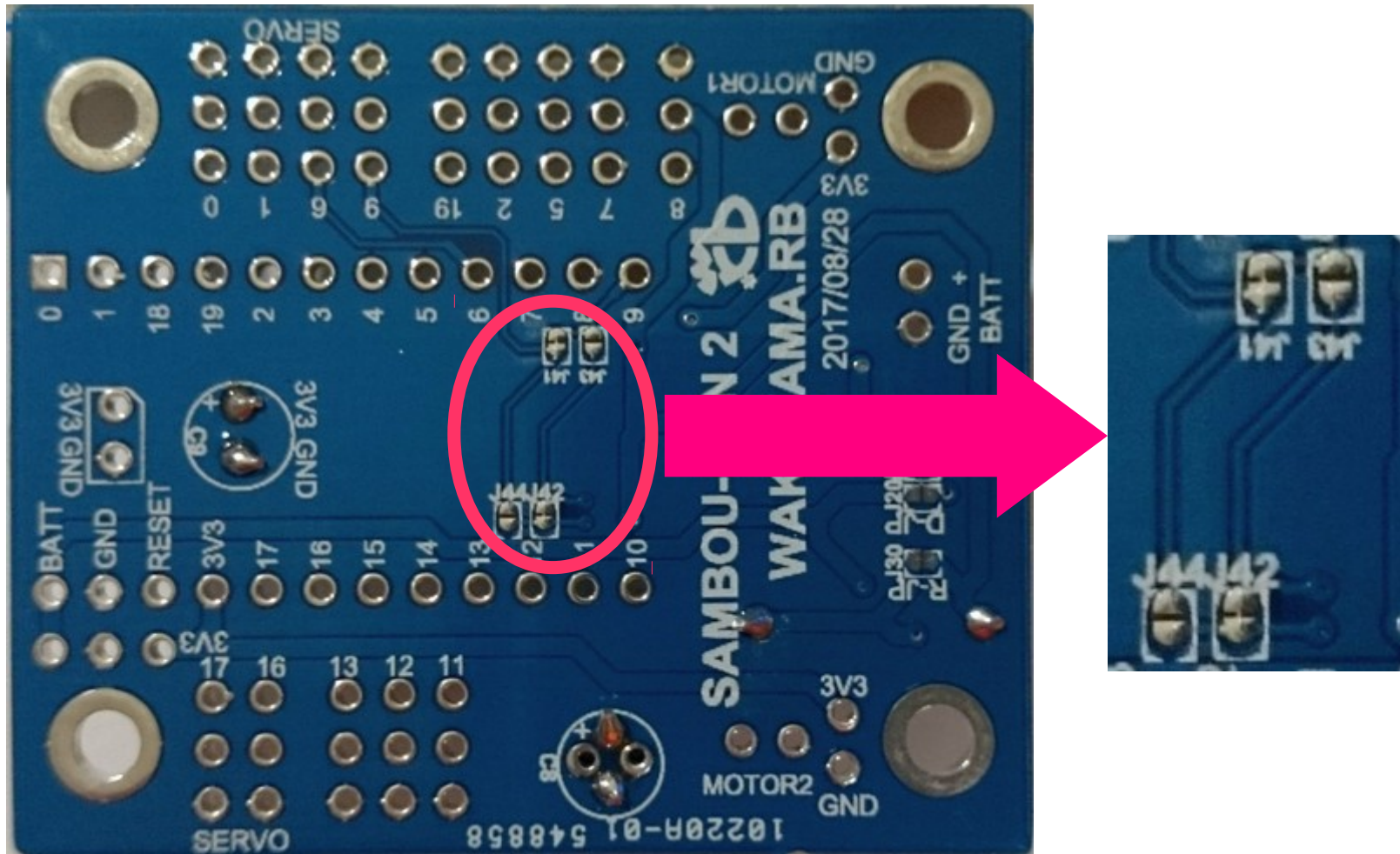
J20 USB電源経路の保護ダイオードを無効化したいとき ONにする

J21 バッテリー経路の保護ダイオードを無効化したいとき ONにする



ジャンパの説明

モータのPWM制御に 10番を使わずに9番を使いたい場合
J41,J42,J43,J44のON/OFFを入れ替えます。



ジャンパの説明

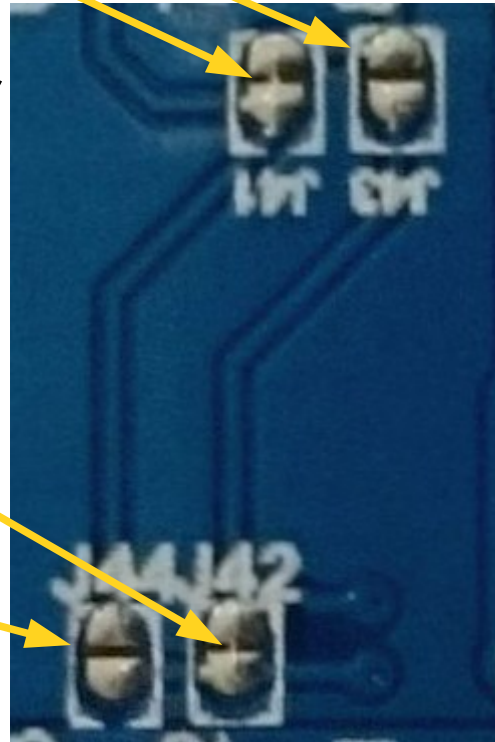
モータのPWM制御に 10番を使わずに9番を使いたい場合

J41 接続しているパターンをカットします。

J43 ONにします。

J41接続しているパターンをカット
します。

J44 ONにします。



F A Q

■サーボモータのGR-CITRUSピンを入力として使いたい

1番内側のピンがGR-CITRUSのピンと直結しているので、そのまま入出力ピンとして使えます。

■電解コンデンサが容量不足なので追加したい

サーボモータ用のピンである電源とGNDに電解コンデンサを接続することにより、容量を増やすことができます。

■モーターにもっとたくさんの電流を流したい

J21の抵抗ジャンパをショートして電流制限抵抗を無効化してください。

■何アンペアまで流せますか

抵抗は1W1Ωです。ダイオードは2Aのものを使用しています。DCモータのドライバは平均1.2A/ピーク 3.2Aのものを使用しています。J20,J21,J30をショートすることにより、抵抗とダイオードは無効化できます。

Rubyプログラム例 (DCモーター)

```
#Ver 2.33
#TB6612FNG L-L->STOP, L-H->CCW, H-L->CW, H-H->ShortBrake
Vero = [4, 10] #モータの速度を決定するGR-CITRUSのピンが4番と10番です。
Num = [18, 3, 15, 14] #モータの回転方向などを制御するビット、1モータ2ビットです。18, 3番、15と14番がペアです

for i in Num do
  pinMode(i, OUTPUT)
end

#モーター1を止めます
pwm(Vero[0], 0)
digitalWrite(Num[0], LOW) #A1
digitalWrite(Num[1], LOW) #A2

#モーター2を止めます
pwm(Vero[1], 0)
digitalWrite(Num[2], LOW) #B1
digitalWrite(Num[3], LOW) #B2

#モーター1を正転します
digitalWrite(Num[0], HIGH) #A1
digitalWrite(Num[1], LOW) #A2
pwm(Vero[0], 128)

#モーター2を正転します
digitalWrite(Num[2], HIGH) #B1
digitalWrite(Num[3], LOW) #B2
pwm(Vero[1], 128)
delay 10000

#モーター1を反転します
pwm(Vero[0], 0)
digitalWrite(Num[0], LOW) #A1
digitalWrite(Num[1], HIGH) #A2
pwm(Vero[0], 128)

#モーター2を反転します
pwm(Vero[1], 0)
digitalWrite(Num[2], LOW) #B1
digitalWrite(Num[3], HIGH) #B2
pwm(Vero[1], 128)
delay 10000

#モーター1, 2を止めます
pwm(Vero[0], 0)
pwm(Vero[1], 0)
digitalWrite(Num[0], LOW) #A1
digitalWrite(Num[1], LOW) #A2
digitalWrite(Num[2], LOW) #B1
digitalWrite(Num[3], LOW) #B2
```

Rubyプログラム例 (サーボモーター)

```
#Ver 2.33
Num = [0, 1, 6, 9, 17, 16] #サーボのピン番
for i in 0..5 do
  pinMode(Num[i], OUTPUT)
  Servo.attach(i, Num[i])
end
k = 1
3.times do
  #角度 0度と90度を繰り返し動かします
  for i in 0..5 do
    Servo.write(Num[i], k * 90)
    delay 10000
  end
  k = 1 - k
end

for i in 0..5 do
  Servo.write(i, 0)
  Servo.detach(i)
end
```